

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス LUMINO前橋校	公表日	2020年2月17日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が児童発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	役員等などを事務室に置き、スペースの確保を行っている。	適切であるが、必要に応じて、物の配置など、より良い環境に変更していく。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	個別対応も出来れば、平均4名程度の職員を配置する事を行っている。 職員が不足している場合は、ヘルプを呼んで対応する。	常に増やせるように、職員を増やしていく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	清潔なエリアには、ジョイントマットを敷き、滑りやすいエリアを可視化出来る様にしている。	子どもでも理解できる掲示がつかない(広明、トイレ、洗面所) 外に出やすい、密度の出るなどの配慮がある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○	毎日の清掃、消毒を行っている。運動スペースの確保がなされている。	独特な匂いがあることとで換気の確保や匂いの対策を講じている。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	パーテーションで仕切りを作っており、個別の部屋の確保が出来ている。	仕切りで、視覚が遮断できても音を遮断する窓はないので、職員の個別対応で対応している。
	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。		○	業務の振り返りを月に1回、改善委員会に定期的に話し合いを行っている。	職員がでなくともあるもので改善している。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	保護者と密に連絡を取るなどを行っている。	2024年9月開校のため今起が初めての実施。引き続き定期的に評価表の実施をしている。
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	改善委員会に定期的に話し合いを行っている。	意見がでなくともあるもので改善している。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は行っていない。	第三者による外部評価は行っていない。法人本部と連携計。
	10 職員の資力の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○	定期的な研修や会議などを行っている。	校内外研修、法人内研修を実施。研修の質も高めていく。
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムが作成、公表されているか。		○	児童発達支援室を中心に個別支援計画に基づいた内容、プログラムを作成している。	引き続き実施していく。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を体系的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○	モニタリングや契約前に細かいヒアリングを行い、作成している。	引き続き実施していく。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○	全ての職員で支援会議を行い、共通理解を深めている。	引き続き実施していく。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○	個別支援計画を個別化した書類を作成し、常に計画に沿った内容で保護者へフィードバックが行えるよう工夫している。	引き続き実施していく。
	15 こどもの活動の進捗の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	言い事、体験育、保育園、幼稚園、好きなこと、放課後支援事業所との連携など実施し、情報を収集している。	引き続き実施していく。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「移行支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び実施内容が盛り込まれ、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○	設定されている。管理事項の欄に、その目標を設定した理由やエピソードを記載している。	引き続き実施していく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○	セッション前に全体で打ち合わせを行っている。	引き続き実施していく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○	活動の人数、子供の様子などでメニューを切り替える事を行っている。	引き続き実施していく。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		○	集団活動がメインである。	引き続き実施していく。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して実施を行っているか。		○	セッション前に全体で打ち合わせを行っている。	引き続き実施していく。
21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	セッション後に振り返りの時間を設け、情報の共有を行っている。	職員が不足し、毎日の振り返りが出来ない。 職員を増やすように本部と協力していく。	
22 日々の支援に関して記録をとることや徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		○	記録を取る。打ち合わせ等で見直しを行っている。	引き続き実施していく。	
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		○	定期的にモニタリングを実施。細かいヒアリングを見直しをしている。	引き続き実施していく。	
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。		○	活動管理用紙である。	法人本部と連携計。	
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を力をつけるための支援を行っているか。		○	同一のメニューであっても、個々の能力によってレベルを変えている。出来ること、自己選択、決定して行えるような工夫をしている。	引き続き実施していく。	
関係機関や保護者の連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、こどもの状況をよく理解した者が参加しているか。		○	光前寺や改善委員会から出席している。	引き続き実施していく。
	27 地域の保健、医療(主に医師や歯科医師等)、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	言い事、体験育、保育園、幼稚園、好きなこと、放課後支援事業所との連携など実施し、連携している。	引き続き実施していく。医療機関との連携は弱い。
	28 学校との連携共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(活動の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。		○	定期的な連携等実施している。	年間計画や行事の予定などは交換できていない。
	29 学校前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を促しているか。		○	言い事、体験育、保育園、幼稚園、好きなこと、放課後支援事業所との連携など実施し、連携している。	引き続き実施していく。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。		○	情報提供を作成している。	引き続き実施していく。事業があった方のみのみの情報の不足しづつ改善していく。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや指導員研修を受ける機会を設けているか。		○	連携、指導員は受けている。	スーパーバイズは出来ないもので改善が必要。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	放課後児童クラブを利用している児童を、児童館クラブまで迎えにいったり、その成果を共有することもある。	地域との連携が少ないのが現状。今後、職員人数等が増えれば、児童館等との受け合う機会を設けていく。
	33 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		○	参加していない。	地域との連携が少ないのが現状。今後、職員人数等が増えれば、協議会等との受け合う機会を設けていく。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を深めているか。		○	セッション前に保護者にフィードバックする時間を設けている。また、LINEツールを使い、書類から連絡がしやすい環境を設けている。	引き続き実施していく。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の開催や情報提供等を行っているか。		○	自宅で家族で出来るトレーニングなどYouTubeで配信。その内容など保護者に伝える必要がある。	家族に対しての支援プログラムなどはYouTubeで配信している。法人本部のHPやYouTubeを知りたくない。
保護者への説明	36 深層研修、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○	契約前に説明書と資料を配り、細かい説明をしている。	引き続き実施していく。
	37 放課後等デイサービス支援を作成する際には、こどもと保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を含め、こどもや保護者の意向を尊重する機会を設けているか。		○	適宜、電話相談にて対応している。	引き続き実施していく。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。		○	常に、同意がとれている。	引き続きもれがないよう対応していく。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、適切な必要な助言と支援を行っているか。		○	家族からの相談などがあれば、LINE、電話などで話を聞く事を行っている。定期的なフィードバックで話を引き出したりと工夫もしている。	引き続き支援していく。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を創設する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	実施できていない。	地域が少ないのが現状。今後、職員人数等が増えれば、保護者会等との受け合う機会を設けていく。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	苦情や虐待があった場合の相談窓口を設定し、紹介している。職員に対しては定期的に研修を実施している。	苦情があった場合1～2日で解決し、報告書等も作成。再発防止をしている。継続している。
	42 定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	法人本部のHPで発信はある。YouTubeで法人として活動メニューを発信している。事業所としては発信していない。	保護者に対しての発信はセッション時の写真のみとなっている。発信が少ない。法人本部のHPやYouTubeを知りたくない。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	利用児童の個人情報ファイルを所持。鍵付ロッカーで管理。	引き続き、厳重に管理していく。
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	個別な対応が必要な児童には、職員が共通認識のため、可視化してわかりやすくする書類を作成。(ハンドサインなど)	引き続き支援をしていく。
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	自費で採用セミナーを頂くなどの行事の開催を行っている。	地域に開かれた運営が少いのが現状。今後、職員人数等が増えれば、受け入れていく機会を設けていく。
非常時の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	発生を想定した訓練を毎月2回に実施。職員に対して定期的に研修を行っている。	引き続き実施していく。
	47 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	発生を想定した訓練を半年ごとにも実施。職員に対して定期的に研修を行っている。	引き続き実施していく。ご家族への周知ができていないのが課題。
	48 事前に、産業や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。		○	個別な対応が必要な児童には、職員が共通認識のため、可視化してわかりやすくする書類を作成している。事前にカウンセリングシート、アセスメントシートにも記載している。	引き続き実施していく。
	49 食中毒アレルギーのあるこどもについて、医師の指示等に基づき対応がされているか。		○	食べ物の提供を行っていない。	食べ物の提供を行っていない。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な状態で実施が行われているか。		○	発生を想定した訓練を毎月2回に実施。職員に対して定期的に研修を行っている。特設ドアの前の通路の確保など、留意している。	引き続き実施していく。ご家族への周知ができていないのが課題。
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、保護者へ周知しているか。		○	活動管理の案内は周知している。	契約前に周知しているが、その後の案内は行っていない。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	ヒヤリハット発生時には、紙ベースで情報を共有。全員が従事するように職員全体のサインをもらう。	引き続き実施していく。
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	新人職員には入職してから3ヶ月以内。研修員は定期的に研修員に研修を実施している。	引き続き実施していく。
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、事前に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	契約前に書面に説明。職員にも共通認識の研修を月に定期的に研修を実施している。	引き続き実施していく。